第74回山形県連合小学校長会研究協議会第2分科会【教育課程】豊かな人間性

豊かな人間関係を育む教育課程づくり~人権感覚育成の視点から~

2020.6.12(金)

北村山地区校長会

I 研究の概要

- 1 ねらい
- 2 方法
- 3 内容
 - (1) 実践に当たって
 - (2)意識調査
 - (3) 実践研究
- 4 成果と課題
- 5 提言

1 研究のねらい

- 〇子供たちが、夢を持ち、豊かな人間関係を 育みながら生活できる学校づくり
 - ①人権感覚を意識した教育課程づくりと学校 経営を推進する。
 - ②校長のあり方、役割等を明らかにする。

2 研究の方法

(1)<u>意識調査</u>

豊かな人間関係づくりにつながる教育課程づくりと人権 感覚づくりについて、実態を把握し考察する。

(2) <u>実践研究</u>

人間関係づくりに効果のある実践例を共有し、各校の指導実践に生かす。

(3) <u>考察・提言</u>

(1)及び(2)についての検討・協議を通じて、校長のあり方、役割等についてまとめ提言する。

(1)研究に当たって (語義の整理)

■「人権感覚」とは…

- ① 自他の人権が擁護された状態を感知し、これを よしとする感覚
- ② 自他の人権が侵害されている状態を感知し、これを許せないとする感覚

■校長の役割

- ① 学校のグランドデザイン
- 2 組織づくり
- ③「P-D-C-A」のシステムづくり
- ④ カリキュラム・マネジメントの職員周知と 経営参画意識の高揚
- ⑤ 地域連携など教育資源の確保

■実践整理の軸

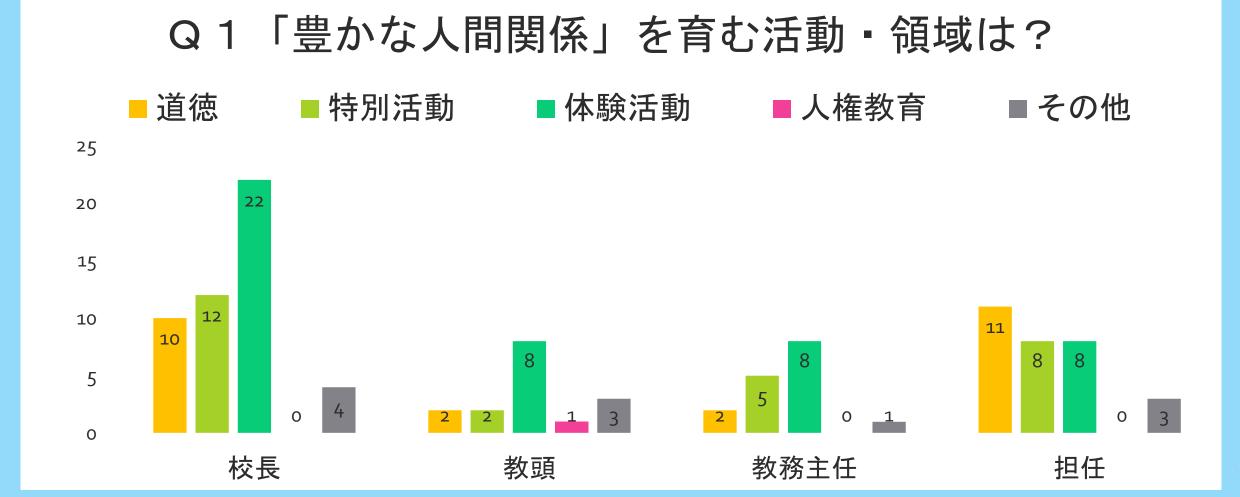
A 学校経営(グランドデザイン)の明確さ B 学校運営の工夫

- ①組織づくり
- ②「P-D-C-A」のシステムづくり
- ③ カリキュラム・マネジメントの職員周知と経営参画意識の高揚
- C地域連携や教育資源の確保

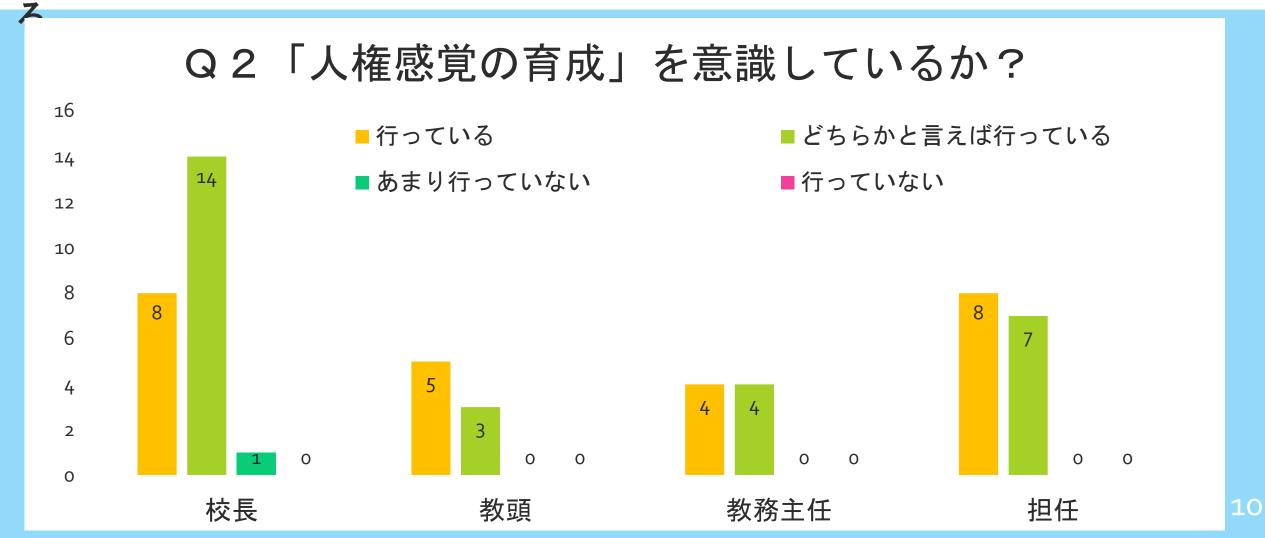
(2)意識調査

- ① 対象 北村山地区内校長(悉皆25名) 教頭・教務主任・教諭(抽出計32名)
- ② 内容 ア 豊かな人間関係の育成のために重視している 領域等について
 - イ 人権感覚の育成についての意識や人権教育 の取り組みについて
- ③ 視点 校長と教頭・教務・教諭を、職の違いから対比し、 分析する。

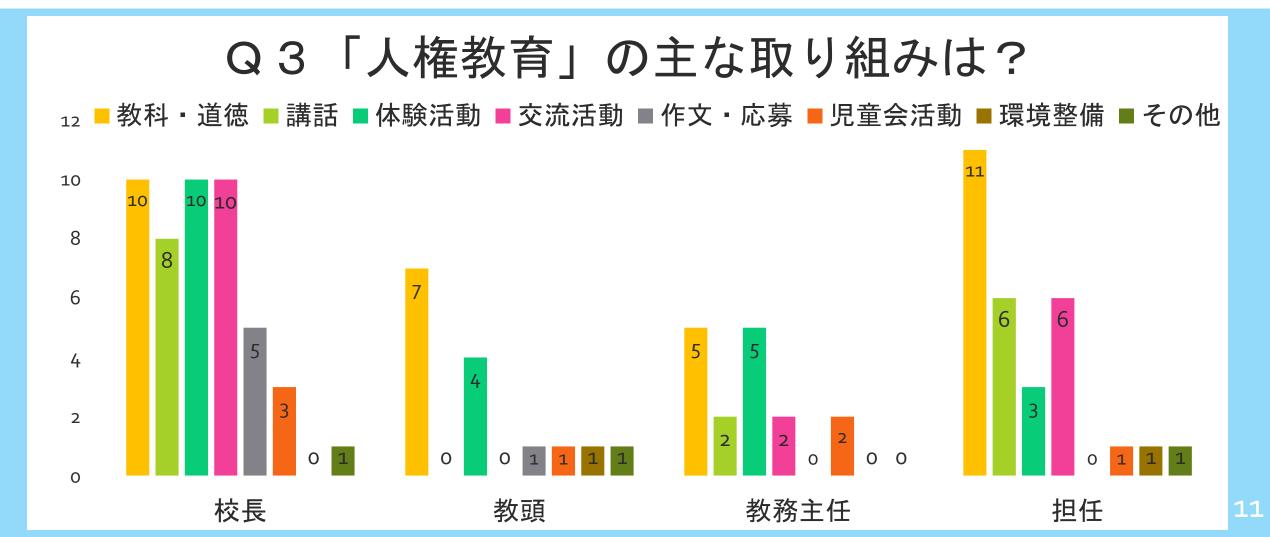
〈表 1〉どの職も「体験活動」・「道徳」・「特別活動」の意義を認めてい



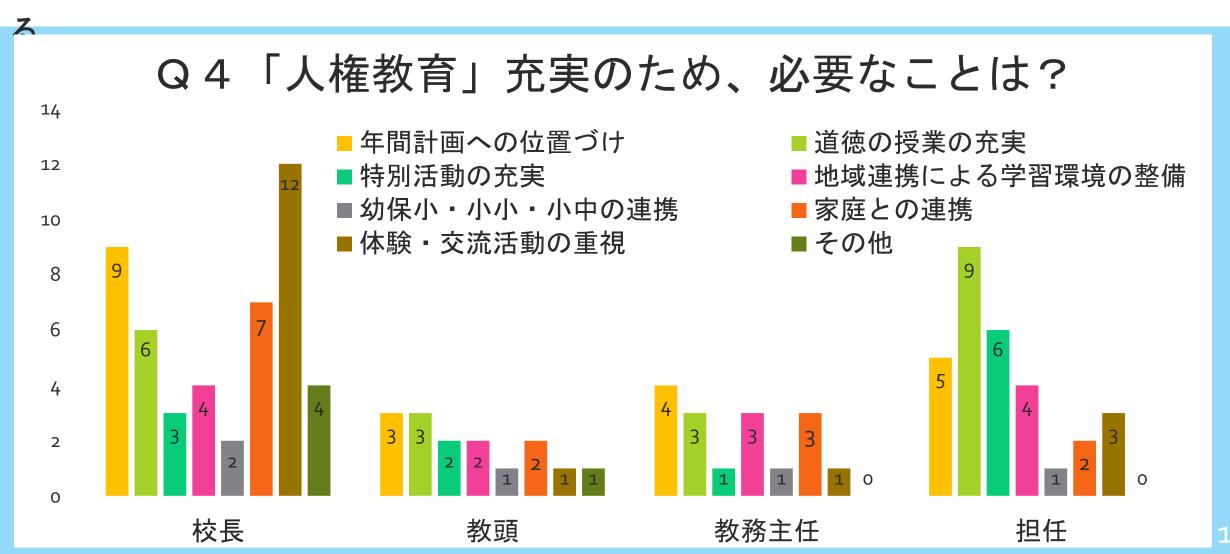
〈表2〉どの職も「人権感覚」を意識しているが、校長には自信のなさが伺え



〈表3〉校長は、人権教育の実践を教育活動全体で幅広く実践することと認識しているが、担任は「教科・道徳」と「講話・交流活動」を中心領域と認識している。



〈表4〉人権教育の充実のために校長は「体験・交流活動」と「年間指導計画への位置づ を重視しているが、担任は「道徳授業の充実」と「特別活動の充実」を重要視してい



(2) 意識調査の考察

- ① 学校経営を担う校長の意識は、「体験活動」と「交流活動」を中心にして、年間計画に基づき確実に育成することを目指している。
 - ⇒ 校長のめざす学校経営について全ての職員に周知し共有する手立てを講じるとともに、 校内体制づくり、取り組み内容の見届けと指導など、指導実践の充実を図るリーダーシップが必要である。

- (2) 意識調査の考察
- ② 教育を直接担う学級担任の意識は、日々の指 導の場である「教科・道徳指導」に向いてい る。
 - ⇒ 他の領域においても豊かな人間関係を育むことの意義を踏まえた実践となるよう、児童の発達実態に応じた工夫や他の教育活動との関連を生かすなど、さらなる充実を目指したい。

で、

(2) 意識調査の考察

- ③ 「人権」は、日常のあらゆる教育活動の基盤となる普遍的な価値である。
 - ⇒ 全ての教職員が、「自他を尊重し、侵害等を 許さない感覚」を備えて児童の前に立つこと

豊かな人間関係づくりとよりより学校づくりが 達成される。

(3) 実践研究

A 学校経営(グランドデザイン)の明確さ

- ・「子供の良さを認め、伸ばす学校に」 ⇒いいとこメガネ
- 「授業づくりの精神」 ⇒分からないことは宝
- ・「語り合う学校風土の構築」 ⇒判断力・説明力・かかわり力
- 「人権感覚を育成する教育活動の奨励」

≪成果≫

- 〇教師の指導姿勢が児童に反映。自尊感情の高まり。
- 〇良さを伝えあう学校風土。人権感覚の高まり。
- 〇支えあう活動を地道に行える子供の増加。

(3) 実践研究

B 学校運営の工夫

- ① 組織づくり
 - 「ミドルリーダーの育成」「教職員の人権感覚の醸成」
 - 「学年ブロック主任の新設」「語り合える職場づくり」
 - 「研究推進のための指導助言とコーディネート」

(3) 実践研究

B 学校運営の工夫

- ②「P-D-C-A」のシステムづくり
 - マイルストーンの設定
 - ・児童への学校目標や重点の説明

■ 参考① マイルス トーン (東根小)

2019学校教育目標達成へのマイルストーン

(6)年()組

| | 第1節 (4/7~5/31) | 第2節(6/1~7/25) | 第3節(8/20~10/11) | 第4節(10/15~12/20) | 第5節 (1/7~3/18) | | | | | |
|-------------|--|--|---|---|--|--|--|--|--|--|
| Key Word | 出会い | 前進 | 挑戦 | 成長 | 感謝 | | | | | |
| めあて | ・出会いを大切にする。・学習や生活のルールを身につけ、 学びの土台をつくる。 | ・児童理解を深めて、学級経営を 充実させ探究的な学びをつく る。 | ・自ら挑戦し、仲間と協力してやり遂げるたくましさを育てる。 | ・工夫した単元構成や教材・課題 をもとに、探究的な学びを深め る。 | これまでの学校生活をふり返り、 感謝の気持ちや次年度への意欲 をもたせる。 | | | | | |
| | | 行動で示す子ども(自律) 教育活動を通して、より良い生 もち、思いやりの心、責任感と | 自主性を伸ばしていく。 | の実践力を育てる。 | | | | | | |
| 各 | 学習や生活の約束を確認 達成 する。道徳の学習において、 自分の考えをもって意見が 言えるようにする。学級目標 「成長」の具体的手立てを考 える。 | ルを図り せの御売がせた 中和 | 秋季大運動会に向けて、 見通しをもって取り組条 せながら、縦割り班長や係の一員をして自りにきさる の一員をして自りにきるさせながら、実行させ、より して自りにするより して自りにするより してりを大切にしていく。 | 修学旅行,学習発表会を 適したいのようをするとした。 きたい現代にしたされば、 きたの実現に向けてもなりにした。 それている日常の取りに、 るり返っている。 3 | 卒業に向けて、それぞれ 達成 に「感謝」めあてをもって 取り組ませる。学年・学級 の仲間との関わりを大切に し、中学校でも高め合える 仲間作りをしていく。 | | | | | |
| 節の | 知 自分を高める勉強法が分かり実践する子ども 思いや考えを伝え合う子ども(向上) ① 自分を高めるための学び方を確立し、実践力を育てる。 ② 課題を自分事として捉え、お互いの思いや考えを聴き合い、共に高め合えるようにする。 | | | | | | | | | |
| 具体的な手 | 家庭学習の充実を図る。毎 日のふり返りを大切にし、学 習の復習を行っていく。 自分の考えと友だちの考 えを比べながら話を聴き、つ なげながら発言していく。 | 学年目標として「勉強を 達成 | | 自分の学び方をふり返 り、高のでいくことのできるような一番でいるようできるようできるようできるようできるようできる。 学習を対していている。 学習を対し、高めできるよりに気がある。 知知を対し、高めできるようなりに気がでしていく。 知知ができる。 | 学習の進度に余裕をも 達成 ち、6年の復習をしっかり 行っていく。 中学校を意識し、集中し て一時間半勉強できるよう な習慣づけを図っていく。 | | | | | |
| 立て | 体 高い目標に向かって、自分の限界に挑戦する子ども(挑戦) ① 教科体育や体育的行事での取り組みを充実させ、心と体が一体となった成長を支えていく。 | | | | | | | | | |
| | 東根市小学校陸上大会に 向けて、自分の目標達成のた めの具体的行動を考え実践 にうつしていく。 毎日を振り返り、自分のが んばりを蓄積していく。 | 校外の大会への出場と学校 生活の両立を図ることができるように、話をしていく。 保護者の協力を受けなが ち、自己の健康管理ができるようにしていく。 歯磨き の徹底を図る。 | 秋季大運動会に向けて、 自分の走力のアップを図 さし、数科体育の充実を図 を、数科体育の充実を図 を、製体的な場面を想定して考えさせたり、対応を出 速にしたり、再度超こることがないように指導する。 | 数科体育の活性を通してする。 を選択してあるがを を関連している。 をしている。 をしている。 をしている。 をしな。 をしている。 をしている。 をしている。 をしな をしている。 をしている。 をしな をしている。 | いのちの教育を道徳と保 達成 健の学習を中心に進めてい く。 冬場の体力向上をめざ し、短縄や体つくりの運動 を進め、家庭でも継続して 行うことができるようにし ていく。 | | | | | |
| 評価 | 東根市小学校陸上大会の個人目標を一人一人がしっかり立て、達成に向けて努力することができた。ほとんどの児童が記録更新することができた。 各数科において、自分の考えをもち発言するということが固定化している。家庭学習への取り組みに差があり、個別指導をしていく。 | のといをサームのできが、 のとを持った。 を見いを見いた。 を見いたできばいます。 を見いたできばいます。 のとなり、 を見います。 のとなり、 のとな | 秋季大運動会を通して、仲間と 協力してやり遂げることができる ようになった。しかし、個々の課 題も見えてきている。人との関わ り方については、じっくり時間を かけて指導していきたい。 落ち着いて学習に取り組むこと ができていない。進度を守り力が つくように授業を進めていく。 | 2学期後半、まとめの時期に入 り、家庭学習の内容が変わった。 自己評価を行い、自分の苦手なと ころ、理解不足なところを中心に 復習することができた。 学校行事を通して、学年・学級 の仲間の新しい一面を見ること で、好ましい関係性を築くことが できた。 | | | | | | |

■ 参考② 児童への説明 (西郷小)



- (3) 実践研究
- B 学校運営の工夫
 - ③ カリキュラム・マネジメントの職員周知と経営参

画意識の高揚

- ・学級カリキュラムの作成・別葉の作成
- 全職員によるカリキュラム・マネジメント表の作成
- 〇職員や児童の参画意識の高まり。 〇「P・D重視」から「C・A重視」への転換。

■参考③

学級カリ キュラム

(東根小)

学校教育目標の具現化をめざし、「生き方」への見方・考え方を深める学級カリキュラム

東根市立東根小学校 4年 組

1. 学校教育目標とめざす具体的な子どもの姿 2. 学校教育目標に対する子どもの現状と課題 学校教育目標達成のための取り組み(学年・学級) ① 活発で活動的な男子が多く、自己主張ができる。その一方不安や自信のなさ(弱 徳 自分と相手のよさも弱さも丸ごと受け止める子ども 心も体もたくましく凛とした子どもの育成 ・自己存在感がもてる学級経営(27人のよさを生かした班・係・学級づくり) さ)のために、その友達の行動に流れてしまっていることがある。女子は、自己 知 自ら課題を見つけ、友だちと学び合う子ども 主張が苦手な子どもが多く、本音を出せないまま、流されてしまいがちである。 (めざす子ども像) ② 自分たちで話し合ったり活動したりする学び方が好きである。自分たちで見つけ ・全教科において、主体的・共同的な学びが成立する授業を目指す。(授業改善) ① 自分を大切にし、仲間を思いやる子ども 学び合いの場面を増やすために、一人一人がつぶやきやすい環境づくり。 た課題には、意欲的に取り組むことができる。また、友だちの考えと似ていると ② 広い視野をもち、深く考える子ども ころや違うところなどを考えながら学習することができるようになってきた。 (授業環境改善) ③ 体を動かすことが得意で、いろいろな運動に積極的に取り組むことができる子ど 体 自分を高め、めあてに向かって最後までがんぱる子ども ③ 丈夫な体をもち、最後までやり抜く子ども もが多い。一方、好きな運動に偏りがあり、不得意な運動には消極的になってし めあてをもって挑戦できる場の工夫 まう子どももいる。 (教科体育や体育的行事でのめあて設定と振り返り) ・規範意識を高め、正しく判断できる場の設定 (学級の課題を見つけ、みんなで取り組む。) 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 1月「ポロといっしょ」 学年重点テーマ 丸ごと 受けとめる 4月「海田君もいい感じ!」 相手のことを思いやり、親切にしたときの喜 相手のことを思いやり、相手のため びを感じることができるようにする。 問題 自分を大切にし、自分や友達のよさも弱さも丸ごと受けとめ、心を豊かにする子ども に努力する心情と態度を育てる。 (親切、思いやり) (相互理解、實容) り サにより 9月「祭り日」 2月「十六番目の代表選手」 協力しながら、目標に向かって力を発 6月「ブラジルからの転入生」 間接的・精神的な支えによる協力 友達のよさを見つけ信頼関係を築こう 揮しようとする心を育てる。 があることを知る。 のよ とする心を育てる。 (友情、信頼) (友情、信頼) 学い (相互理解、實容) び生き 5月「いのりの手」 10月「すれちがい」 信頼し合える友達について考え、 7月「ゲームのやくそく」 広方を 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手の 信頼し合える友達関係を築こう ・相手のことを理解し信頼を深 考えを受け止めることの大切さに気づき、よりよい とする心情と態度を育てる。 めようとする心を育てる。 n 友達関係を築いていこうとする態度を養う。 深創まる (友情、信頼) (友情、信頼) (実践意欲と態度) る見方 学級活動 大縄大会に向かって 児童会 6年生を送る会 学級活動 学級目標を決めよう 学級活動 取り組み目標を決めよう ・る 学級のみんなで心を一つにして大縄 自分たちの学級の実態を話し合い、1年後のなりたい 自分たちの学級の現状を分析し、さらにレベルアップ 6年生や1年間いっしょに活動した縦 を跳ぶ練習をすることで、学級の信 えちも 割り班の仲間に感謝の気持ちを伝える。 学級像を話し合い、学級目標として取り組んでいく。 するための学級目標を決めて取り組む。 頼関係を築く。 Ñ か 児童会 縦割り斑顔合せ 学校行事 遠足 学校行事 秋季大運動会 学校行事 東根市小学校合同音楽会 学級活動あいあい!2組 1年間、いっしょに活動する仲間 ・校外学習を通して仲間の 縦割り班種目、団体種目、応援合戦など 心を一つにして仲間と合唱に取り 友達とともに支え合い高め合いながら を理解し、仲良くしようとする気 よさに気づく。 で、みんなと力を合せる大切さを知る。 組む。 生活したことを振り返り、自尊感情を 他領域 持ちを持つ。 高め、次の1歩を踏み出す意欲を持 音楽 旋律の重なりを感じ取ろう 国語 プラタナスの木 外国語活動 世界の言葉であいさつしよう 登場人物の性格や気持ちの変化 旋律が重なり合うおもしろさを感じ ・友達と挨拶をして自分の好みなどを伝え の関 国語 聞き取りメモの工夫 を想像して読む。 取って、演奏したり聞いたりする。 合う。 相手の話の大事なことを落とさず に聞くために、メモが取れるよう 図エ 夢のまちへようこそ 体育 ハンドベースポール 図工 すみかですみか にする。 友達と協力して、まちづくり 友達のすみかのよさやおもし ルールを守って仲間と協力しベース ろさを見つける。 に取り組む。 型ゲームをする。 体育 ポートボール ルールを守って仲間と作戦を考え、 班活動 係活動 ・友達のいいとこ紹介 ・友だちクイズ ・学級目標への取り組み ゴール型ゲームをする。

■参考④ 全体計画別葉 (玉野小)

6年 全体計画別葉 (教科領域等と道徳との関連計画表)

| | | キーワード | 重点の内容 |
|---|--------|-----------|---|
| めざす 子ども歳 よりよい生き方について判断し、自他を大切にして行動しようとする子ども | 重点内容項目 | B 相互理解、實官 | 生命が多くの生命につながりの中にあるかけが久のないものであることを理解し、生命を目置すること 自分の考えや雇見を相手に伝えるとともに、課慮なゆる持ち、広いゆで自分と異なる歴史や立場を尊重すること 現が個や権士の伝統と文化を大切にし、先人の努力を担り、国や権士を受する必をもつこと |

| | | ľ | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 付録 |
|------|--------------|--------------|--|--|--|---|---|---|---|--|---|---|--|--|
| | 遊恩 | | アフター・ユー (C よりよい呼牧生活。 無型主活の作業) ●是太への問題 (A 間性の特長) ●選かいおさんじゅう (B 礼義) | ●事に治かって 三浦建一部 (人 相似と思う(法)・認由) ●編子, ※ 思報) (日 対策・記事) ・ 日本語の対応さか (人 正書、故等) ・ (人 相似と悪人 ・ (人 相似と悪人 ・ (人 相似と悪人 | (C 数別、公共の精神) ●かっこいいお父さん (C 家族曼、 家庭生英の弁章) | 生命と自他の尊重 | | ●生命のメッセージ (D 生命の報さ) | ●プランコ乗りとピエロ (B 相互理解、資産) ●際はだけ、折り替 (D 生命の考さ) | ●あやまって すむことじゃない (B 相互理解、資産) | | ●命と向き合う人生 (D 生命の報さ) | ●負けないで (D 生命の様さ) | |
| | | | | | | ●いちばん近い自然 「難山」 (C 伝統と文化の単重。 団や樹土を受する様度) | ●これが日本 (C 伝統と文化の報義。 団や親土を受する様度) | ●上の環境を未来につなぐ (C 伝統と文化の報酬 理や様士を受する機能) | ●お茶のも (C 伝統と文化の尊重。 国中郷土を受する物度) | | ●町おこしブラン (C 伝統と文化の報告 団や様士を受する概念) | | | |
| | | | | | | (B 感覚) ●寸あしにサンダルの天使 ーマザー・テレサー (D よりよく生きる種び) | ●いらなくなった音楽的 (C 類的の観響) ●放映な人 - 吉田松雄一 (A 正鑑。展樂) | ●機能がある扱い (C) 自然機能 ●本単にだいしょうみ? (A 影響、影響) | ●フーバーさん (C 国際経典) ●介令人の応参索った資新 一も悪千動 (C 公正、公平、社会正義) | ●敷かおに割り (6 種点、風いゆり) ●最初想のうわさ (C 公正、公平、社会正順) | ●助させ、部八十四 1 (人 国性の時息) ●最後のひと音 (名 観点、最い中り) | ●大会に飛び立つ者 (A 普易の利数、音楽 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | ●Dたしは ひろがる (D よりよく生きる難び) | ●飲のしょうぞう間 (8 方性 登録) ●地び小のおる駅 (C 勤労、公共の報刊) |
| 学校行事 | | | ●砂糖式 ⑮ 共譲) ●入学式 ⑮ 共譲) ●入学式 号表 ●1年主を認える会 ⑤ 頼忍。 ○かやり) ●五野坂区クリーン作戦 〈C 動力、公共の報神〉 | ●部組え (C 配的、公共の機神) (C 石跡と文化の種類 図や様と表する極度) ●寺様上大名・世行式 (A 希望と悪名、 関力と強い意志) | (C よりおい学校主名。 無理主名の代章) ●プールびらき (D 生命の様さ) | ●政党子で名 (人 思恵、 即由) ●水外が締合 (人 特別と選(関力と強い恵恵) ●終策式 (日 礼棚) | ●地震文 (日礼養) ●地震文 (日礼養) ●地震文 (田本美) (日 大理動物 ・ | | ●の接続(日 参照) ●文化等 ・ 一般にの作用) (日 女体、信報) | ●発の機能 (C よりよい学校主題、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | ●物理式 田 共業) ●物カスキー大会 (A 幹線と養気 努力) | ●由之子一大会 (人 料線に参覧、別力) ●の性主を包含み(項 明報) ●文書物画美術館の会 (田 都線) | ● 様子式 (日 共産) ● の無証証明を改 (日 成業・日共義) ● 総理 (日 元義) | |
| 特別 | 学級法 | 5 6 0 | ●学順日標を決めよう (C よりよい学校生活。 無理生活の元素) ●発を決めよう (C 動力、公共の精神) | ●学級の旗を作うう (C よりよい学校主送、 業団生活の元章) | | ●1学期を振り思うう (A 総食、粉制) ●資体みの計画を立てよう (A 相談と商生、 努力と強い意志) | ●異体みを振り返うう (A 能度、能制) ●2学院の日標を立てよう (A 報酬と勇気。 努力と強い意動) | ●学級文章を活用しよう (A 真理の指究) | ●学願スポーツ大会をしよう (8 友情、価値) | ●2字順を振り返ろう (A 態度、影響) ●名体みの計画を立てよう (A 報道と勇気。 努力と強い意志) | ●3学期の日準を立てよう (A 特値と最低。 努力と強い意志) | ●6年生を送る会の準備を しよう (C よりよい学校生活、 無国生活の元素) | ●1年間を振り返ろう (A 創度、創制) | |
| 樹 | クラブ、児童 | 会,委員会 | ●委員会活動開始 (C 公正、公平、社会正順) ●クラブ活動開始 (A 個性の特長) | | ●全校集会 (○ よりよい伊牧生活、 歯型生活の光美) | | | | ●クラブ発表会 (A 個性の特長) | ●金牧集会 (C よりよい学校生活。 歯暦生活の代表) | | ●金牧集会 (C よりよい学校生活。 無型主名の元美) | ●1年間の活動のまとめ (A 脊値と養生。 努力と強い意志) | |
| | 2015 | 光村図書 | 参加いつうぐス 中側のも辺地 (C 前級と大切の車馬 間や着土性変する機関) (D 自和開機) | 等力力が最より 等性の対象とのが報 申学能が開発とよう (3 対象、理解 (3 対象、理解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | ・ 日本の | | (A 真理の研究) (で 伝統と文化の単重。 関や最上を受する研究) ●本家がよりよくあるために | 主芸の小の音楽 中でをおし、 色イーハトーグの夢 の 新力とあり集め、現金) (C 何能と文化の意思、 電子等は主義学する概形 (C 何能と文化の意思、 電子等は主義学する概形 (C の能と文化の意思、 (C の能と文化を表現) (D 色形実施) | 「神経の変形を表現」である。 (C 面積の変形 (C 面積の変形 (C 面積の変形 (C 面積の変形 (C 面積の変形 (C 面積を大変の構造 (C 面積を大変の構造 (C 面積を大変の構造 (C 面積大変の構造 (C 面積大変の表現を) (C 面積大変の表現を) | 参照表示 (日 年間) (日 報収、器いやり) | 映画医学/協会し (人 裏面の研究) (C よりん)特性主感 (立まりたの作業) (D 密度理解) 参加的自然と連携 (A 異意の研究) (B 報志 都)中り) | 審教者の名 (で、物化ではかの業品 雷や助比を押する場面) (り、自然課題) (り、自然課題) (り、自然課題) (り、自然課題) (の、ような、表表の意) (人、正正、課金) (人、正正、課金) | 中の時かへつはける (人、首後の中間) (人、首次の中間) (人、首次の中間) (人、首次の中間) (力・意か、単位) (力・主か、単位) (力・主か、単位) (力・主か、単位) (力・主か、単位) (力・目が、単位) (口、目が、単位) (口 目が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、単位) (口 日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日が、日 | |
| | 社会 | 東京書籍 | ●縄文のむらから 古場のくにへ (C 伝統と文化の報告。 目や様士を授する様様) | ●大阪中央の間づくり (G 函数と大阪の機能。 国や株主を受する機能) ●機能のくらし (C 函数と大阪の機能 国や株主を受する機能) (G 図数を施、図解機能) | ●就士の他の中へ (G 伝統と文化の様態。 国中様士を授する機能) ●今に伝わる意明文化 (C 伝統と文化の様態。 国中様士を授する機能) | ●3人の質問と天下被一 (C 伝統と文化の確認。 国や様士を受する際像) | ●江戸総合と飲送の安定 (C 伝統と文化の報告。 国や様主を受する根拠) ●町人の文化と新しい時間 (C 伝統と文化の報告。 国や様主を受する概要) | ●総治の置づくりを 動かた人々 (C 伝統と文化の報酬。 団や様士を授する機能) ●世界に歩か出した日本 (C 伝統と文化の報酬。 団や様士を授する機能) (C 国際地域、国際機能) | ●長く親小だ朝季と 人々の響うし (C 公正、公平、 社会正義) (D 生命の報志) ●新しい旧本、平和な日本へ (C 国家を規、国家報告) | ●子育て支援の観いを 実現する政治/ 最終集員の観いを 実現する政治(種別) (A 帰線と悪気。 別力と無い理由) (D 生命の報で) | ●国の政治のしくみ ●力だしたちのくらしと 日本国際法 | ●日本とつほがりの家。週々 (C 伝統と文化の尊重。 国中毎上を授する参照) (C 国際理解、国際報酬) | ●世界の未来と日本の役割 (C 伝統と文化の報息 (C 伝統と文化の報息) (C 国際毛原、国際網種) (C 国際毛原、国際網種) | |
| 數料 | 舞数 | 大日本図書 | | ● 父子を使った当 ●分散のかけ算 | -33L(00)(90] | West C. | 通さ角性と同性の体験場合の数 | 収・拡大配と機図 | - RMCNRN | ●およその形と重視 | ●養料の機べけ ●量の単位 | ●日曜間の後と初 | | |
| Ш | 理科 | 東京書籍 | ●地球と塩たちのくらし ●物の燃え方と空気 | ●動物のからだのはたらき (A 資理の保険) (D 生命の様さ) (D 自然受験) | ●植物のからだのはたらき ●生き物のくらしと環境 | | ●太陽と月の形 ●大地のつくり | ●変わり続ける大物 ●てこのはたらき | ●水道線の性質とはたらき | | ●■異と私たちのくらし | ●地球に生きる | | |
| | 音楽 | 教育芸術社 | ●重力な歌声をひびかせよう | | いろいろな音のひびきを 味わおう | | ●和音の美しさを味わおう | ●自想を味わおう | | ●掛と音楽を味わおう | ●日本と世界の音楽に 親しもう | ●毎をこめて表現しよう | | |
| | 図画工作 | 日本文教出版 | 参携つめて 助けて/ 影や色を楽しむう (A 真理の辞究) (C 伝統と文化の尊重。 国や郷土を受する際度) | ●極端のつはさき辿げて●動きをとらえて形を見つけて | ●水の機打のように | ● P. | くるくるクランク党の部 | アミアミアミーコ ●整で表す (C 伝統と文化の確認。 国や報工を要する根据) | ●ひらいてかると ●いっしゅんの形から | 1.20乙炔癸炔 | ●扱わってみよう和の物 ●扱から広がる世界 | ドリームフラン | ■12年後のわたし | |
| | 家庭 | 開隆堂 | ●わたしの生活時間 ●炒めて作ろう軽度のおかず | ●クリーン大作戦 | ●書い学節を快適に | | ●楽しく ソーイング | | ●くみうしようおいしい食事 | | ●共に生きる生活 | | | |
| | 体育 | 光文書院 | ●体ほぐしの運動 ●短距離を・リレー | ●マット運動 | ●ソフトボール (ペースボール型) | ●水準 (D 生命の報念) | ●リズムダンス ◆○月〇日私のダイアリー (表現) | ●フラッグフットボール (ゴー ル型) | ●体力を高める運動◆走路の2種競技 (ハードル走・走り幅とび) | ●妖神運動●フォークダンス (世界の語り) | ●とび地運動 | ●サッカー (ゴール型) | | |
| П | 保健 | 学研教育 | | | (D 生命の報念) | | | | | | | (A 数据、数数) | | |
| ľ | 総合的な学習 | | 参加数・無理について 調べよう (C 伝統と文化の確認。 目や領土を授する機能) | | | | | - | ●早級プロジェクト (A 希望と勇気。 努力と強い意志) (B 感報) | | | (I) CHOMONY | | - |
| H | 外国語活動 | | | OTHE IS ME! | •Welcome to Japan. | OHels famous, Shels great. | M Ke my town. | •My summer vecetion. | What do you want to watch? | My best Memory. | ●What doyou want to be? | ●Juntor High school Ife | | |
| | / Table 00/C | | | | | 2000 | | l | NO WHEREIT | l | | | l | L |

(3) 実践研究

C地域連携や教育資源の確保

- コミュニティスクールによる多様で良質なかかわりづくり。
 - ・地域連携、小中連携による「社会に開かれた教育活動」の 具体化。

≪成果≫

- 〇地域での居場所づくり。
- 〇自己有用感の高まり。
- 〇多様な人や考え方にかかわる場づくり。

■ 参考 ⑤ 南っ子ふるさと学習 (大石田南小)





■参考⑥ 地域クリーン 作戦 (福原小)



4 成果と課題

(1) 成果

- 〇 意識調査から把握した実態と課題を改善する ために、教育活動の意義やねらいについて職員 で共有しながら実践を展開することができた。
- 〇 3つの実践軸での経営改善を通して、校長の 役割や為すべき指導について明らかにすること ができた。

4 成果と課題

(2)課題

● 本地区では、伝統的に自他を大切にする学校 運営が行われているが、「人権感覚の育成」の 視点から教育活動を見直す意識の継続も必要で ある。

5 提言

■「人権感覚」を意識した教育課程づくりと教育実践に、全職員の意識を揃えて取り組むことが重要である。

■学校経営の具現化のため、職の特性や違いによる意識の差を十分に把握した上で、経営方針の周知、組織づくり、「P-D-C-A」のシステムづくりを行っていくことが重要である。

5 提言

■学校を支える地域や保護者が「豊かな人間関係づくり」や「人権感覚の育成」を意識し学校や児童と関わる協働的な体制づくりと実践が重要である。

第74回山形県連合小学校長会研究協議会第2分科会【教育課程】豊かな人間性

豊かな人間関係を育む教育課程づくり~人権感覚育成の視点から~

2020.6.12(金)

北村山地区校長会

ご清聴ありがとうございました。